

## きよはしだより No.06

発行 エンジョイ幾世橋集合！  
2024. 11. 16

### 10月19日クリーン作戦 & 交流会

2号棟北側駐車場のフェンスに沿う空き地に花壇を作るための下準備として、雑草の除去と土を掘り起こし、石の除去を行いました。作業終了後、集会室で交流会。



大小多量の石が掘りおこされました。



先日、チュリップの球根1000球以上を植えました。その様子は、No.07でお知らせします。

来年の春が楽しみです。

交流会では、10月26日の「バーベキューを通じた交流会」のための食材等の買い出し品目について、細部に亘る検討が行われ、肉以外の買い出しはイベント前日、イオン浪江店ですることとしました。



交流会の様子

## バーベキューを通じた交流イベント（ふれあい交流センター）

10月26日、幾世橋集合住宅と近隣住民等の皆様の参加を得て、実施されました。



調理室を使い、3班に分かれ、子どもも一緒に作業しました。



一升炊きと5合炊きの炊飯器で炊いたご飯をラップで包み、「おにぎり」を作りました。

調理室で作った料理を会議室に運び、3班に分かれ談話・交流しながら会食しました。



地場産品にこだわりました。福島牛、福島県産米（会津コシヒカリ）、浪江焼きそばです。



嬉しいことに、車椅子の土井さんが昨年の「いこいの村バーベキュー広場」の行事に次いで、今回も参加してくださいました。

「まちづくりなみえ」の今野さんも時間をさいてかけつけてくれました。

参加した皆様のアンケート結果からいくつか紹介

○今度は、幾世橋集合住宅やご近所のみなさまとどんなことをしたいですか

- ・茶話会(クリスマス会または新年会) ・お互いの家をたずねたい
- ・今度は、チューリップ植栽も皆様と楽しみながらできたらいいと思います。

○なにかひとことどうぞ。(こうすればもっと良くなる、心に残ったこと・・・)

- ・おいしくいただきました。ありがとうございました。 ・楽しく過ごしました。
- ・小さいお子さんとお話したのは数年ぶりです。嬉しかったです。
- ・子供達が、頑張って、サラダづくりやウィンナーに切れ目を入れてくれたり、食器の片づけをしてくれたりと、とても楽しんでくれたのでよかったです。
- ・11時→14時の活動が予定通り、楽しく、まさに「エンジョイ幾世橋集合！」だったと思いました。

## 10月30日(水)幾世橋集合住宅交流映画会

集合住宅集会室での上映作品は「フラガール」、令和6年度復興庁「心の復興」事業、映画文化によるコミュニティ形成事業の一環として行われました。昭和40年、いわき市。炭鉱の閉鎖により危機的な状況に追い込まれた町で、豊富な温泉を利用したレジャー施設「常磐ハワイアンセンター」の計画が持ち上がりました。地元の女性たちの中からダンサーが募集されました。歴史のまっただ中にいる者の苦悩に涙腺の反応に堪えられなかった。時代の変化にどう対処するか深く考えさせられました。名作でした。

この映画会は、次回もあるそうです。どんな作品が上映されるのか楽しみです。皆で鑑賞・交流しましょう。

## 11月4日(月)消防訓練

2号棟501の杉本さん宅が出火もとの想定で、避難と消防署員による防災設備の説明、消火器による放水訓練、AED（自動体外式除細動器）（集会所玄関入り口：外側に設置されている）の使用法について説明がありました。非常ベルで飛びだしたものの、この日は震え上がる寒さ。寒さ対策が必要だったと反省。

## 11月12日～14日業者による共用スペース清掃

今回は清掃期間が長く、階段、共用スペースを含め高度の清掃が実施（双葉不動産）されました。11日には天井やフェンス部のクモの巣払いを行っている様子も見えました。共用スペース床が見違えるほど明るくなった。

11月3日(日) デマンドベンチで話をしておりますと、道路側に6名ほどの青年達が集合住宅の方をながめておりました？ 牛渡さんと二人で、何かしらと思い「どちらから来られたのですか？」と声をかけました。すると「東京大学の学生ですと、一人は女性でした。いこいの村に宿泊し、浪江の復興の様子を見ておりましたと。

「移動の手段等はどうですか？」と聞かれましたので、「デマンドバスの事を話しました。役場の協力で大変ありがたいです」と。

改めて、浪江の注目度が分かりました。

牛渡・益子

奇しくも、この日、東京に住む高2の孫から「うちの学校のボランティア部の生徒が今、浪江に行っているよ。」と連絡が入りました。

「浪江町の探求」に来たそうです。どんなところを見て、何を探求したのでしょうかね。

### 原稿募集

本誌「きよはしだより」への投稿、寄稿、情報提供をお願いします。体験記、短歌・俳句、紀行文、評論、随筆、感想、論説 主張、写真、その他何でもOK。

「投稿等」はお気軽に会長（益子）ポスト1-103へ、ご投函をお待ちします。  
会員、会員外からの投稿歓迎

## 復興 夢ものがたり

寛容と排他 水は何でも溶かし、氷は全ての異物を排除する  
なみえの水道水を凍らせて純氷(融かして純水)を得る

海水には塩や二酸化炭素、カルシウム、鉄、ウランその他さまざまな物質が溶けている。まさに万物を溶かす母なる水である。「水は無限の寛容性」を持つ。「なみえの水道水」にもミネラルや殺菌剤などが含まれ、純粹の水ではない。そんな「水道水」から「重水」や「重い酸素を含む水」をより分けるのは不可能だ！読者はそう判断し、「なみえの水で



冷却管の回りにできた氷

金儲け」は正真の夢物語だと思ったに違いない。

だが、驚くべきことに、「水道水」を凍らせるだけで「純水」が得られるのだ。さまざまな異物を溶かし込む母なる水、寛容な水ではあるが、それを一度、凍らせると「純粹の氷」に変わる。

氷はあらゆる異物を排除することでも有名だ。異物は何処へ行くかという、最後に凍る水の部分に濃縮されるている。いわゆる、「水の寛容・氷の排他」という特質がある。氷が異物を排除することは色インクに染まった水から無色透明の氷ができることから確認できる。私が学生の頃、教わった「微量のアンモニアを含んだ水を凍らせた氷部分を再度溶かして、ネスラー試薬で調べたところアンモニアが全く検出されない」という有名な話があり、強烈な印象として残っている。氷に含まれたアンモニアは水中の1万分の1以下だ。当時(半世紀以上前の話だが)、天空から舞い降りる雪は化学実験室で得られる純水よりきれいだと本気で信じられていた。



薄く切った氷の偏光写真

だから、「なみえの水道水」を使うことで、水道水に含まれる異物が全て除去される。誠に簡単な精製法といえる。福島第一原発事故で発生した放射性汚染水から純水を分離する方法としてこの製氷法の適用性がテストされた。微量の放射性セシウムを含ませた水(セシウム濃度 20ppm)中に作られた氷のセシウム含有量は1回の凍結操作当たり 1/1000~1/100 の濃度(重量濃度)に減少した。ストロンチウム Sr やイットリウム Y を含んだ水でも同様の除染効果が確認された。ただし、除染割合は氷の作り方によって大きく変わった。特に、透明な氷、結晶粒の大きい氷が作られたとき時に除染効果が高かった。水には空気が溶けている。空気は窒素分子と酸素分子が殆どを占める。空気中から水面に飛び込んだ窒素分子や酸素分子の一部が水中に突入し、水に溶けるのだ。そしてその水から氷が形成される過程で、水と接する氷の表面に気泡となって出現(析出)することがある。その気泡部には異物も同時に析出する。純粹な氷を得るには気泡を含まず、大きな結晶粒の氷を作ることが肝要となる。

對馬